

年 組 名 前 :



生徒会選挙で電子投票

学校現場で一人一台のデジタル端末の活用が進む中、甲府城南中は生徒が自身の端末から投票する電子選挙を行うなど、情報通信技術を使ったICT教育の推進に力を入れている。学校行事や授業のほか、保護者アンケートなどに活用して、教員の負担軽減にもつながっているという。鈴木昇校長は「子どもたちにとってデジタル化は必須の能力。教育目的を達成しつつ、効率化も図りたい」と話している。

城南中 端末活用、ICT教育を推進

昨年12月中旬に行われた生徒会選挙。会長と副会長の候補者8人は特別室で演説し、全校生徒約800人が、特別室でオンラインでつなげた各教室で、候補者の政策に耳を傾けた後、自分の端末から1票を投じた。

指導に当たった野木紹喜教諭によると、投票は約15分、例年2時間以上かかっていた集計作業も約40分で終了し、大幅に時間を短縮できた。同校は県内で生徒数が最も多い中学校のため、密を避ける狙いもあったという。

効率化の一方で、「1票の重みを考える」という教育目的を達成するための工夫も。生徒は候補者の演説を聞きながらメモを取り、投票の際には候補者名だけでなく、支持する政策を選ばず仕組みを取り入れた。

端末はのほか、授業や、

甲府

山本久美子
笠井 襄弥
(055) 231-3111
FAX 231-3161

(2022年1月15日付 山梨日日新聞 25面)

問1

甲府城南中は、デジタル端末を利用した電子投票によって生徒会選挙を行いました。投票用紙に候補者名を書くなどのこれまでの選挙に比したメリットを2つ挙げてください。

-
-

問2

同校は、生徒会選挙のほか、どんな学校行事などにデジタル端末を活用していますか。

.....

.....

問3

デジタル社会が加速する中、学校現場ではICT(情報通信技術)教育が推進されています。実際のカリキュラム内容、進め方などについてどう思いますか。

.....

.....

リモート形式で実施する始業式・終業式(合唱コンクール)賞状伝達、保護者アンケートなどに活用。アンケートでは「紙が不要になるほか、教員の業務負担軽減につながっている。」

鈴木校長は「新学習指導要領の導入で指導内容が増えていく。教育目的を達成しながら効率化していく努力が必要」と話す。同校は市が指定するICT教育推進校。鈴木校長は「さまざまな場面で端末を活用し、有効な事例を他校に伝えたい」としている。